

開講年次・時期	2年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	1単位
科目コード	NC330	科目名	介護実習指導Ⅳ		担当者名	棟方 ナナ子					
授業の概要	介護実習に必要な知識・技術・介護過程展開等について総合的な学習を行う。利用者理解、介護施設、チームケアに関する知識を得ると共に、介護福祉士に必要な実践的能力を養い事例をまとめる。										
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・専門科目で得た基本的な知識・技術を実践するための具体的な方法を学ぶ。 ・実習での自己実践内容を分析・考察し、自己覚知へ繋げ高い倫理性を身につける。 										
DPの観点	①判断力 ②専門知識・技能 ④協働力 ⑤コミュニケーション能力 ⑦主体性 ⑩論理的思考										
授業時間外学修(予習・復習)	実践した介護過程を事例にまとめる。予習・復習は1時間程度行うこと。										
フィードバックの方法	事例研究報告書としてまとめたものを配布する。										
単位認定の要件	授業時間内、決められた期日までの提出物を重視する。実習施設での評価を参考に定められた基準を満たすことが単位認定の要件とする。										
評価の方法・割合(%)	施設評価60% 授業内提出物30% 授業内活動10%										
履修上の注意事項	介護福祉士資格取得必須科目 30分以上の遅刻は欠席とする 遅刻3回で欠席1回とする										

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			実習事後指導1 実習の意義と目的を学ぶ	②⑤⑦	コミュニケーションカード
2			実習事後指導2 多様なニーズと介護支援を学ぶ	②⑤⑦	コミュニケーションカード
3			介護過程展開1 客観的事実の記録を学ぶ	②⑤⑦⑩	コミュニケーションカード
4			介護過程展開2 観察記録方法を学ぶ	②⑤⑦⑩	コミュニケーションカード
5			介護過程展開3 プロセスレコードの活用法を学ぶ	②⑤⑦⑩	コミュニケーションカード
6			介護福祉士の職業倫理 介護保険法・関係法規を学ぶ	①②⑦	コミュニケーションカード
7			施設理解1 各施設の特徴・まとめ(特養)	②④	コミュニケーションカード 課題レポート
8			施設理解2 各施設の特徴・まとめ(老健)	②④	コミュニケーションカード
9			施設理解3 各施設の特徴・まとめ(養護・グループホーム)	②④	コミュニケーションカード
10			施設理解4 各施設の特徴・まとめ(ディサービス・居宅支援事業所)	②④	コミュニケーションカード
11			施設理解5 各施設の特徴・まとめ(小規模多機能型・看護小規模多機能型)	②④	コミュニケーションカード
12			事例研究1 事例研究の意義を学ぶ	①②⑤⑦⑩	コミュニケーションカード
13			事例研究2 介護福祉士と事例の関係を学ぶ	①②⑤⑦⑩	コミュニケーションカード
14			スーパービジョン1 スーパービジョンの意義を学ぶ	①②⑤⑩	コミュニケーションカード
15			スーパービジョン2 スーパービジョンの活用方法を学ぶ	①②⑤⑩	コミュニケーションカード 課題レポート
期末試験			試験		まとめと確認

使用テキスト	新・介護福祉士養成講座第10巻「介護総合演習・実習」 荘村明彦 中央法規
参考文献 参考URL	「実習の手引き」青森明の星短期大学
備考	適宜資料配布

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働力⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	---

授業の自己評価	
---------	--